

企画総務部

○公衆衛生情報に関する調査研究

—情報ドキュメントファイル・データファイルの編集・提供およびデータ検索の標準化に関する研究—

長谷川伸作

平成 17 年度調査研究報告書，北海道立衛生研究所，札幌，平成 17 年 3 月

様々な形式で収集・作成されるドキュメント情報のファイル化・データベース化及び多元的利用を目的とし，XML 化による汎用化入力方法とその検証法（入力者の自己チェック法）を確立し，表現形式を統一した文書作成化を試みた。

○インフルエンザ予防接種の EMB に基づく政策評価に関する研究

鷲尾昌一¹⁾，大浦麻絵¹⁾，小笹晃太郎²⁾，田中 隆³⁾，長谷川伸作，森 満¹⁾，廣田良夫⁴⁾

廣田良夫編，新興・再興感染症研究事業報告書，大阪市立大学大学院医学研究科，大阪，平成 18 年 3 月

北海道内高齢者入所施設（409 施設）の入所者及び看護・介護職員のインフルエンザワクチンの接種状況とインフルエンザ様疾患の罹患と施設内流行について調査した。所属施設の看護・介護職員のインフルエンザ様疾患の罹患が施設入所者の同流行に及ぼす影響を検討した。

¹⁾札幌医科大学医学部，²⁾京都府立医科大学大学院，³⁾大阪大学大学院医学系研究科，⁴⁾大阪市立大学大学院医学研究科

健康科学部

○放射能年報 48（平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月）

福田一儀，佐藤千鶴子，市橋大山

北海道立衛生研究所放射線科学科編，北海道立衛生研究所，札幌，平成 17 年 7 月

文部科学省の委託事業を主体とした北海道における環境放射能水準に関する平成 16 年度の調査結果をまとめた。降水の全ベータ放射能測定（試料数 108），降下物，陸水，海水，農畜水産物，牛乳，日常食，土壌，牧草，海底土などのガンマ線放出核種分析値（試料数 52），農畜水産物のストロンチウム-90 の放射化学分析値（試料数 17）及び空間放射線量率（連続測定）の測定値に異常は認められなかった。

微生物部

○重症慢性活動性 EB ウイルス感染症症候群発症機序の包括的解明

岡野素彦

平成 16-17 年度文部科学省科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書，北海道立衛生研究所，札幌，平成 18 年 3 月，pp.1-26

重症慢性活動性 EB ウイルス感染症症候群は，発熱・リンパ節腫脹・肝脾腫などを呈し，慢性に経過する予後不良の疾患である。本症候群をウイルス学，免疫学，細胞遺伝学的に検討し，報告した。

○北海道・東北・新潟ブロックにおけるパルスフィールドゲル電気泳動（PFGE）を基礎とした施設間差について

長野秀樹，木村浩一，伊東拓也，合田 悟

寺嶋 淳編，平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）「食品由来感染症の細菌学的疫学指標のデータベース化に関する研究」総括・分担研究報告書，国立感染症研究所，東京，平成 17 年 3 月，pp.25-31

間隔をあけて配付した 2 群の試料中の同一菌株について，100% の similarity を示すかどうかを検討した。その結果，100% の similarity を示した施設は少なく，その原因として解析時のバンドの読みが影響することが示された。

○エイズ医薬品候補物質のスクリーニングを基盤とした，抗エイズ新薬開発に関する研究

本間 寛，伊木繁雄

棚元憲一編，厚生労働科学研究費補助金（創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業）「エイズ医薬品候補物質のスクリーニングを基盤とした，抗エイズ新薬開発に関する研究」平成 17 年度 総括・分担研究報告書，国立医薬品食品衛生研究所，東京，平成 18 年 4 月，pp.41-44

101 件の被検薬剤に対し抗 HIV 活性についてのスクリーニング試験を行った結果，HIV 増殖抑制効果が有効と判定されるものが 2 件，またさらに分画することで有効となる可能性のあるものが 9 件存在した。